

第121回 令和7年11月11日（火）

クリティカルシンキングのすすめ。

世界には常識が数多く存在します。検証しなくても当たり前のことが常識です。常識の怖いところは「知らないと恥ずかしい」と思わせるところです。常識といわれる中には偽りも含まれています。それでも「それは常識だろう」と言われると疑うことができなくなります。

人間は3人の人間に同じことを言われると自分の意見を変えてしまう生き物です。また新聞やメディアなどの世論はあまり疑おうとしません。みなさんは新聞を数紙読むことがあるでしょうか？同じ事象について各社書くことが違いますし、社説に至っては真逆のことが書かれることもあります。

ネットニュースはエコーチェンバーによって同じ意見を主張する記事が自然と目に入りやすくなります。すると世界中でそれが常識になっているような感覚に陥ります。実際はごく少数の同意見の人が集まっているだけなのに。気がつくとも誹謗中傷をしていたグループの一人になってしまうリスクもあります。

アメリカでは共和党と民主党の支持者がまったく逆の主張をして大きな分断を生んでいます。相手の意見を相容れず、攻撃をする風潮は危うさを感じます。日本人は政党が多数あり、常に中道と呼ばれる中間派もいます。2大政党制が政治の理想と言われていますが果たしてこの常識も正しいのか疑わしく思います。

功績を残した科学者は常識を疑うことから歩みを始めています。太陽ではなく地球のほう回っていると主張した偉人がどのような労苦を背負うことになったか、いまはアニメ化もされていますので興味がある人は見てください。

私は若いころから束縛されたり命令されたりすることがあまり好きではありませんでした。部活動の体育会系のしきたりで「水を飲むな」「1年生のうちはボールを触らずに応援しろ」「先輩が引退したら全員頭を丸めろ」などの決まりにことごとく不満を持っていました。行動に起こすほどの勇気はなかったものの、扱いにくい後輩だったと思います。

1つの考えに縛られることのリスクを常に覚えておくの良いかと思います。世界で起きている紛争や戦争は自国の主張を常識として、それを根拠に相手を攻撃していることがほとんどです。

「それって本当かな」を大事なキーワードとして胸にしまっておいてください。将来あなたを助ける言葉になるかもしれません。